

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

こんにちは。東日本営業部 野中です。

今年は東京でもめずらしい程の積雪に驚いた今日この頃ですが、季節はそろそろ春休みを迎えようとしています。先日、遠方の知人から春休みの家族旅行のご相談を頂いたのですが、すでに都内のホテルも予約が埋まりつつあり、改めて予約動向の動きの速さと季節の移り変わりを実感しました。また、グループサイズが大きくなる三世代の家族旅行は、移動の導線を考えた宿泊施設の選択、連泊対応の有無や部屋定員の兼合いなど受け入れ条件に制限があることも多く、なかなかネット予約だけでは完結しないこともあり、まだまだ予約しやすい環境とはいえないように感じる瞬間でもありました。

今回は、そんな家族3世代で楽しむ「家族の絆を深める旅」の商品化をめざして、地元の皆さんと一緒に取り組んでいる「沖縄ファミリーウェルネスツアー」のご紹介をさせていただきます。



株式会社 KBS 創研 執行役員 東日本営業部長兼広報室長 野中瑠美子

新しい旅のカタチ 「ファミリーウェルネス」モニターツアー報告 in 沖縄



ホースアシステッドセラピー



田芋料理

■健康志向の高まりにより、 注目され始めたウェルネスツーリズム

みなさんは、「ウェルネスツーリズム」という新しい旅のスタイルをご存知でしょうか？

ウェルネスツーリズムとは、ヘルスケア・ウェルネスを目的とし、病気を予防し、健康な生活をおくるための、健康づくりのためのツーリズム。免疫力を高め、自然治癒力を回復し、そして健康美を享受する等の目的があるそうです。

健康志向が高まる現在、日本におけるウェルネスツーリズム（ヘルスツーリズム）の潜在市場規模は4兆円と言われていますが、しかしながら、こうした開発が確実に結実するには、受け地（旅行先）での人的資源を中心とした受け入れ体制や流通（商品化、販売）などに課題を残していると指摘されています。また、近年では、開発の観点として、単に旅行中の健康効果（医学的、生理学的、心理学的等）に着目するのではなく、旅行をきっかけとしたQOL（生活の質）の向上を図るための手段として期待されるようになってきています。

※ヘルスツーリズムとは

医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進につながる観光のこと。温泉療法や森林療法、海岸療法（タラソセラピー）のほか、主に医療行為を受けるための手段として行われるメディカルツーリズムなども広義の意味でヘルスツーリズムに含まれる。

■金武町ファミリーウェルネスツアー （第1回2013年11月、第2回2014年2月開催）

今回のウェルネスツアーは、医療と観光のまちづくりを目指している沖縄の金武町（きんちょう）を舞台に、ご当地ならではの田芋（たいも）を使ったお食事や自然体験を通して、家族の絆を深め健康を取り戻す（リフレッシュ・リハビリ）時間を創り出そうと、地元の皆さんと一緒に昨年から取り組んできた企画です。さらに、今回の企画コンセプトとして、普段旅行を諦めているかもしれない、膝関節症などお体に障害をお持ちの方でも、安心して楽しんで頂けるような旅のスタイルを提供させて頂く事でした。

琉球大学ヘルス・ツーリズム研究センターの荒川教授や、金武町にある琉球リハビリテーション学院の皆さん、沖縄バリアフリーツアーセンター、神戸ユニバーサルツーリズムセンターの皆様など専門家の協力を得て、自然の中でのアクティビティ体験を不安なくどうしたら家族一緒に楽しめることができるのか、と心を配り工夫を重ね成り立った体験型プランになっています。各種アクティビティの魅力はもちろんですが、旅行中の介助サービスが付いていることも他にはない大きな特徴と云えます。

また、地元の佐喜真技師さん提供による歩行補助装具（CBブレース）の貸出しにより、普段は自力歩行ができない膝関節症の方でも自分の足で歩くことができたり、カヌー体験やホースアシステッドセラピーなど各種アクティビティを体験し楽しく過ごしていらっしゃいました。そして何より、地元金武町の皆さんが、旅行に来られたご家族が楽しく安全に過ごせるようにと、おもてなしの心と技を駆使し、素晴らしい受入体制を構築してくださったことが、参加された方の笑顔をたくさん惹き出してくださったのだと思っています。

※ホースアシステッドセラピーとは

馬を使ったアニマルセラピー。乗馬体験や馬との触れ合いを通して、心身のケアに効果があるとされている。



琉球リハビリテーション学院の生徒さんによる介助サービス



ヨガ体験



釣り体験



カヌー体験

■モニターツアーに参加されたお客様の声■

友達やデイケア関係者に今回参加した話をしましたら、みんなに良かったねと言われました。家族（娘や孫達）の思いやりを感じることができ、家族の絆について考えるよい機会になりました。今度の旅行も大勢の先生方や皆様と知り合うことができ誠にありがとうございました。次の機会がありましたら、またよろしくをお願いします。（70代/女性）

CB プレース（補助装置）を装着している本人がけっこう喜んで（はしゃいでいた）。毎回声かけをしてくださっていて、本人たちも調子を伝えやすいのかなと思った。アクティビティなど普段では出来ない、見たことのない姿をみれたので、そこからまた会話の量も多くなり帰宅後も思い出話に華が咲きました。（20代/女性）

孫達と過ごす時間をくださってありがとうございます。体験プランを通して子どもの頃の記憶がよみがえり懐かしく思えました。今度は他の孫達とも行きたいと思っています。（70代/男性）

どこに行くにも介助が必要なので、あらゆるアクティビティに的確なサポートがあり不安なく参加できました。いつも背中まがった母ですが、馬に乗った時は背筋がのび・・・久しぶりに見たので感動しました。体調や気持ち方で自分達に制限をかけていた両親が初めての体験やなつかしい体験をすることで明るく少し前向きになりました。その姿を見て子や孫も日常とは違うおじいちゃん、おばあちゃんを発見することができうれしかったです。たくさんの素敵な体験を支えてくれた方々に心から感謝します。ぜひまた体験したいので、この企画が一日も早く実現できることを祈っています。（40代/女性）

家族の絆と健康を手に入れる旅



琉球大学
観光産業科学部観光科学科 学科長
大学院観光科学研究科ヘルス・ツーリズム
研究センター代表
荒川 雅志 教授

例えるなら、脚が痛くて乗馬はできない（馬に跨ることができない）とためらっているお客様に、チャレンジのきっかけづくりをする脇役がこの「介助付きファミリーウェルネスプログラム」。

主役は家族です。今回、脳性麻痺のお客様が、家族の励ましという最後の一押しがあって、生まれて初めて馬に乗ることができました。家族一緒に旅でなければ、もしかして諦めていたかもしれない。

不可能が可能になる旅の力、可能性を見出したモニターツアーでした。またいつか必ず、家族一緒にここに集まろう！そんな家族の絆（きずな）を確かめ合うためのデスティネーション（目的地）をつくるのがわたしの夢です。

●モニターツアーを終えて●

今回の旅を通して感じたことは、お身体に不安のある方やそのご家族にとって、どれほど“旅”という家族で過ごすなにげない機会を創ることが安易でない現状なのか、だからこそ、出来得る最大限の工夫を重ねた受入体制の構築が大切であり、また貴重な家族の思い出（絆）作りに貢献できることに喜びを見いだせるのかなど、改めて本当の“おもてなしの心”を考える機会になりました。

参加されたお客様の楽しそうな笑顔は忘れられない感動をもたらしてくださり、これからも引き続き、心と体のバリアフリー、ユニバーサルな旅、について考え創り出していくお手伝いをしたいと思います。

○沖縄ウェルネスツアーに関する詳細はコチラ○
ネイチャーみらい館様 HPにて

http://www.nature-kin.com/search/detail.php?plan_id=60

編集後記

大好きな旅をしながら健康を手に入れ、家族の絆を再発見できる……こんな理想的な試みが今回の「ウェルネスツーリズム」です。年齢を超えて、健康者も障がいのある人も共にやってみたいことにチャレンジすることが出来るって、わくわくしますね。どの写真のお顔も、みなとても楽しそうです。新しい旅のカタチに期待大です。（増田）

株式会社 K B S 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571
東日本営業部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル3階 TEL:03-6453-9088/ FAX:03-6453-9089
＜関連会社＞ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）
〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西九橋弁慶町222番地京都市イノベーションオフィス内 TEL:070-6928-0602

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京